



”ノーベル平和賞受賞者パチャウリ博士推薦“

『ミートフリーマンデー・ジャパン』パートナーシップ制度ご入会のお勧め

御中

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

NPO 法人日本ベジタリアン協会は 1993 年設立以来、「人と地球の健康を考える」をテーマにベジタリアン・ライフスタイルによる、栄養・健康、地球環境保全、途上国の飢餓救済などの活動を行っています。国際的には欧米で 100 年の歴史を有するベジタリアン統括機関 IVU(国際ベジタリアン連合)と、国内では日本学術会議認証・学術研究団体の日本ベジタリアン学会と協調しこれらの活動に取り組んでおり、現在、個人会員は北海道から沖縄まで 1800 名を超えています。

設立当初から私たちが取り組む重点的な問題の一つである地球環境問題に関して、中南米では 1960 年代以降、肉牛の放牧地などで貴重な熱帯雨林が約 40%も消滅し、地球温暖化推進要因の一つとされています。温暖化防止などの地球環境を守ることはグローバルな視点に止まらず、今や市民生活にとっても重要な問題になってきました。

2008 年に IPCC(気候変動に関する政府間パネル)議長でノーベル平和賞受賞者のパチャウリ博士は「肉の消費量を減らせば、地球温室効果ガスを効果的に減らせる」と主張しました。その内容は、牛などが直接出すメタンガスだけでなく、牧場づくりのための熱帯雨林伐採や、飼料や肥料の生産や輸送など食肉産業全体が排出する二酸化炭素などの温室効果ガスは、FAO(国連食料農業機関)によれば、温室効果ガスの 18%は肉食に関わるものであり、これは自動車などの輸送機関で生じる温室効果ガス 13%(IPCC 試算)を上回ります。

このような考えに同調し、2009 年 6 月 15 日には元ビートルズのポール・マッカートニー氏が温室効果ガス削減を目的に、畜肉の摂食を週 1 回減らすミート・フリー・マンデー(MFMD)運動を提唱しました。本協会は 2007 年から展開してきた『週 1 ベジ』運動を引き継ぎ、パチャウリ博士の推薦を受け地球温暖化の防止のために温室効果ガス削減を推進する目的で 2009 年 12 月 5 日『ミートフリーマンデー・ジャパン』キャンペーンを新たに展開することになりました。

そこで、『ミートフリーマンデー・ジャパン』推進活動強化のため、下記の制度を発足させるに至りました。温室効果ガス削減を目的に「人にも地球にもやさしいライフスタイル」を目指す活動趣旨をご理解の上、ご支援下さる『パートナーシップ制度』(別紙)にご入会下さいますよう、お願い申し上げます。

NPO 法人日本ベジタリアン協会代表理事 垣本 充



『ミートフリーマンデー・ジャパン』パートナーシップ制度

NPO 法人・日本ベジタリアン協会は、地球温暖化防止の目的でノーベル平和賞受賞者パチャウリ博士が提唱され、ポール・マッカートニー氏らが推進されている『Meat Free Monday』を日本のより多くの市民に広く浸透させるため、企業様にご支援ご協力を頂きたく『ミートフリーマンデー・ジャパン』パートナーシップ制度を開始しました。

地球温暖化防止と Meat Free Monday Japan パートナーシップ制度

■パートナーシップ制度の目的

2009年6月15日、ビートルズの元メンバーのポール・マッカートニー氏が地球温暖化の一因とされる食肉生産を減らすため、週1日は肉を食べない日を設けるキャンペーンを開始。現在、世界で飼育されている牛は15億頭にのぼります。

国連食糧農業機関（FAO）によると、食肉生産によって排出される温室効果ガスは、人間の活動に起因する世界の同ガス排出量の約18%を占めるとされています。

マッカートニー氏は「週1日、肉を食べない日を設けることは、誰もが実行可能で意味のある生活習慣の変更だ」と強調しています。キャンペーンは『Meat Free Monday』（肉を食べない月曜日）と銘打っています。

日本でも今後、CO₂排出量削減目標の達成のため、全国的な地球温暖化防止のますますの高まりが予想されます。ところが、肉食から大豆などの植物性タンパク質を含む菜食への移行の動きはまだほとんど見られません。

現状では、まだまだ一般の人々に菜食やベジタリアン食が十分理解されているとは考えられません。人にも地球にもやさしいベジタリアンのライフスタイルの普及にむけ多くの人々、企業、団体、さらに環境省や国土交通省などと連携した社会貢献活動を拡大できれば、人々の理解や関心につながり、菜食のイメージを向上させると考えられます。

今、ドイツ、英国、カナダ、米国など欧米では環境問題を考えて自らのライフスタイルを変えようとする動きが市民レベルで広がっています。ベジタリアンのライフスタイルもその一つです。

菜食中心の食事は地球規模の食糧問題（飢餓）対策、また、我が国では食料自給率の向上や生活習慣病予防の一助になることも併せて訴えていきたいと思えます。

NPO 法人日本ベジタリアン協会とともにパートナー企業として『ミートフリーマンデー・ジャパン』の活動を広める企業を募っています。

■パートナーシップ制度の内容

A 本協会は「人と地球の健康を考える」の視点から、各地で開催するイベント、講演会、新聞、雑誌などの印刷物やインターネット情報を通じ、パートナーシップ企業様との共催をアピールし、地球環境保全などの目的から『Meat Free Monday Japan』菜食の普及、拡大に努めます。

B パートナーシップ制度に参加するメリット

◆企業イメージの向上

- ・社会的責任（CSR）を果たす企業としての認知。
- ・地球環境問題への熱心な取り組み。
- ・地球温暖化防止などグローバルな社会貢献の実践。
- ・生活習慣病など健康問題への取り組み。
- ・健康保持のため社員食堂へのベジタリアンメニュー導入。

◆世界の最新ベジタリアン情報が協会を通じて提供を受けることができます。

◆パートナーシップ制度に基づく商品、広告物への協会マークの貼付が出来ます。

◆NPO 法人日本ベジタリアン協会、日本ベジタリアン学会が主催する講演会、イベントへの参加

C パートナーシップ企業には、広報などの支援

- ・JPVS ホームページで常時、パートナーシップ企業の紹介を行います。
- ・ベジタリアンジャーナル誌(年2回発刊)でパートナーシップ企業の紹介を行います。
- ・ベジレターfrom JPVS Tokyo での紹介を行います。
- ・本協会主催の各種イベント(フェスタ、フォーラム、講演会、研究会等)での紹介。
- ・本協会後援の東京ベジフェス（春、秋に代々木公園で実施、入場者 30000 名）
京都ベジフェス（春、秋に岡崎公園で実施、入場者 10000 名）
上記 会場協会ブースでの紹介
- ・菜食パーティーやミニベジ集会での紹介を行います。
- ・企業様主催の環境・健康などの講演会への講師（大学教授等）派遣を行います。
- ・企業様が行う、広告などへの協会マーク使用可。

D パートナーシップ会員の入会について

年会費は企業あたり年間一口30万円とします。

年会費は『Meat Free Monday Japan』推進活動に使用します。



『ミートフリーマンデー・ジャパン』を応援する協賛企業を募集します。

A 本協会は「人と地球の健康を考える」の視点から、各地で開催するイベント、講演会、新聞、雑誌などの印刷物やインターネット情報を通じ、協賛企業様の応援をアピールし、地球環境保全などの目的から『Meat Free Monday Japan』菜食の普及、拡大に努めます。

B 協賛企業に参加するメリット

◆企業イメージの向上

- ・社会的責任（CSR）を果たす企業としての認知。
- ・地球環境問題への熱心な取り組み。
- ・地球温暖化防止などグローバルな社会貢献の実践。
- ・生活習慣病など健康問題への取り組み。

◆世界の最新ベジタリアン情報が協会を通じて提供を受けることができます。

◆NPO 法人日本ベジタリアン協会、日本ベジタリアン学会が主催する講演会、イベントへの参加

C 協賛企業には、広報などの支援

- ・JPVS ホームページで常時、協賛企業の紹介を行います。
- ・ベジタリアンジャーナル誌(年2回発刊)で協賛企業の紹介を行います。
- ・ベジレターfrom JPVS Tokyo での紹介を行います。
- ・本協会主催の各種イベント(フェスタ、フォーラム、講演会、研究会等)での紹介。
- ・本協会後援の東京ベジフェス（春、秋に代々木公園で実施、入場者 30000 名）
 〃 京都ベジフェス（春、秋に岡崎公園で実施、入場者 10000 名）
 上記 会場協会ブースでの紹介
- ・菜食パーティーやミニベジ集会での紹介を行います。

D 協賛企業会員の入会について

年会費は企業あたり年間一口 5 万円とします。

年会費は『Meat Free Monday Japan』推進活動に使用します。



NPO 法人日本ベジタリアン協会
『ミートフリーマンデー・ジャパン』協賛会員入会申込書

NPO 法人 日本ベジタリアン協会

代表 垣本 充 殿

NPO 法人日本ベジタリアン協会が提唱するミートフリーマンデー・ジャパンの趣旨に賛同し、
協賛会員に加入し、年会費 口 万円を支払いを承諾いたします。

2010年 月 日

法人・団体名： _____ (印)

住所：〒 _____

担当部署： _____

責任者名： _____ 役職： _____

連絡先： _____

電話番号： _____ FAX： _____

パートナーシップ会員年会費：

年会費 一口5万円× 口= 円

支払方法：

銀行振込：三井住友銀行 天王寺駅前 支店 普通口座 1723881

口座名：ミートフリーマンデー・ジャパン事務局

有効期限：入金日より1年間